



大学の理数系教育と社会との接続

キャリアパスと科学リテラシー

理数系学生を受け入れる社会の側の視点から

日本物理学会では、2010年より物理教育シンポジウムを開催しています。第1回は、「新時代の物理教育を探る」と題して、米国および日本国内での物理教育改革の例、物理教育のコース設計と質の保証など、21世紀の物理教育のあり方全般について講演していただきました。第2回は、「高校の物理、大学の物理」と題して、高校と大学の間の接続を意識しながら、物理カリキュラムの全体像を俯瞰する講演をしていただいています。

来る第3回では、大学の理数系教育と社会との接続を主題に、複数の講演と総合討論を企画しています。昨年の大震災をきっかけに、理数系とりわけ物理教育の重要性は、産業界で役立つ人材の輩出としてだけでなく、すべての国民の素養としても、今まで以上に高まっているといえます。本シンポジウムでは、理数系学生を送り出す側からの視点ではなく、受け入れる側の視点から、理数系教育のあるべき姿を再認識したいと考えています。

【日時】 2012年4月1日(日) 13:00～16:30

【場所】 東京大学 小柴ホール (東京都文京区本郷7-3-1)

【講師】 内田 史彦 氏 (株)日立製作所研究開発本部CIO

田代 直幸 氏 文部科学省 国立教育政策研究所

横山 広美 氏 東京大学大学院 理学系研究科

参加費： 無料

事前申込み先：

電子メールkouza-at-jps.or.jp (-at- を @ に置き換えて下さい)、またはFAX 03-3432-0997で、①氏名、②職業、③連絡先住所、④電子メールまたは電話番号をご記入の上、3月29日(木)までにお申し込みください。当日の参加申し込みも受け付けますが、参加者数等の把握のため、事前の申し込みをお願い致します。お預かりした個人情報はシンポジウム運営にのみ使用します。

問合せ先：

日本物理学会事務局 物理教育委員会

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5F

TEL 03-3434-2671 または上記電子メール宛